

農業機械	単位数	2 単 位
	学科・学年	農林技術科 第3学年

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	(1) 農業機械の構造と機能についての理解と関連する技術を身につける。 (2) 農業機械に関する課題を見だし、合理的解決する力を養う。 (3) 農業機械の特性を理解し、効率的な利用を自ら学び、主体的・協働的に取り組む。
使用教科書・副教材等	教科書：実教出版「農業機械」 副教材：農業技術検定問題集, チャレンジライセンス三種危険物取扱者テキスト

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 (学習活動の特記事項など)	考 査 範 囲
1 学 期	第1章 農業機械の役割	4	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械化の意義を理解します。 ・農業機械の利用とその現状について学びます。 ・内燃機関の種類と特徴を理解します。 ・4サイクルガソリンエンジンの作動原理を理解します。 		中間 考 査
	第2章 原動機				
	1 内燃機関	5			
	2 電動機	6			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・電動機の種類と回転原理・取扱いについて学びます。 			
2 学 期	第3章 トラクタ	9	<ul style="list-style-type: none"> ・乗用トラクタの種類と基本運転・操作について学びます。 ・乙種・丙種を受験する内容を取り扱います。 	危険物取扱試験対策	中 間 考 査
	1 乗用トラクタ				
	・種類・基本運転と操作 ・作業の安全確保	10			
	危険物試験対策学習				
学 期	・構造と機能・性能 ・点検調整	11	<ul style="list-style-type: none"> ・乗用トラクタの構造と機能及び性能について学びます。 ・点検調整について理解します。 ・歩行用トラクタの種類と基本運転・操作, 点検調整等について学びます。 		期 末 考 査
	2 歩行用トラクタ	12			
	・種類・操作 ・構造・整備				

3 学 期	第4章 作業機			
	1 耕うん・整地用機械	1	<ul style="list-style-type: none"> ・耕うん・整地用機械の種類と基本運転・操作等また点検調整について学びます。 ・育成・管理用機械の種類と基本運転・操作等について理解します。 ・稲作の作業体系や収穫・調整用機械について学びます。 	卒業 考 査
	2 育成・管理用機械	2		
3 稲作用収穫・調整用機械	3			
【評価方法】 1 中間と期末の定期試験の成績，提出物の有無と内容，学習活動への取り組みの様子等で評価します。 2 おおむね定期試験の成績を70%，提出物を15%，学習活動への取り組み態度を15%とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	(1) 科書を読むなどして予習をしましょう。 (2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き，指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	(1) 座学においては，教科書・ノート・プリント綴り，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。 (2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては注意されたことを守ること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・農業機械の各分野に関する基礎的・基本的知識を理解し，農業機械の技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・授業の中で使用するプリント ・ノートやレポートの内容
思考・判断・表現	・農業機械に関する諸問題を解決すべく，思考を深め，基礎的・基本的知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で使用するプリント ・ノートやレポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	・農業機械の各分野に関する興味関心を持ち，自ら学ぶ態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・授業の中で使用するプリント ・ノートやレポートの内容

3 担当者からのメッセージ

農業機械は，IOTやスマート農業の導入など，最新の技術が投入され日々進化する分野です。高校の学習で基礎的な知識を身につけながら，時代の変化に対応するために様々な情報を取り入れ，将来に生かしましょう。

教科 農業	単位数	2 単位
(科目) 食品製造	学科・学年	農林技術科 ・ 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 食品製造に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と加工方法および貯蔵の原理を理解します。</p> <p>2 品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てます。</p> <p>3 1と2の学習の成果に立って、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、食品製造や加工技術の発展を図る能力と態度を育てます。</p>
使用教科書・副教材等	<p>・教科書 実教出版 「食品製造」</p> <p>・副教材 農業技術検定問題集「食品科学」の分野</p>

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考查
一 学 期	(1) 第4章 食品加工と食品衛生	4	(ア)食品の安全確保と衛生管理の重要性を理解し、安全で衛生的な食品を製造する態度を身につけます。	○機械の説明や実習の内容について復習します	中 間 考 査 期 末 考 査
	(2) 第5章 食品の包装と表示	5	(ア)食品包装の目的, 包装材料の種類や技術について理解します。また, 包装に用いる機器の操作技術を身につけます。	○食品製造実習を行います。 ・ジャム類	
	(3) 第6章 4 野菜類の加工	6 7	(ア)野菜類の分類や成分を学習し, さらに生理特性やおもな加工品について理解します。	・梅干し ・豚みそ ・麦みそ ・甘酒 ・漬け物	
<p>【課題・提出物等】</p> <p>○ 考查終了後, 授業で記録したノートと考查での訂正を提出します。</p> <p>○ 実習の始めに製造についての口頭質問をして, 理解度を確認します。</p>					
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>○ 定期考查(中間考查, 期末考查)の成績点を約6~7割, 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物など)を約4~3割として評価します。</p>					
二 学 期	(4) 第7章 2 牛乳の加工	7	(ア)牛乳の成分の特徴と加工特性および牛乳	○食品製造実習を行います。	中 間 考 査 期 末 考 査
	3 鶏卵の加工	9	の加工品の種類を理解します。	・アイスクリーム	
	(5) 第9章 食品製造の実践と企業化	10 11 12	(ア)乳化性・熱凝固性・起胞性など, 鶏卵のおもな加工特性を実験・実習を通して理解します。	・デコレーションケーキ ・豚味噌・ジャム類 ・麦みそ・甘酒 ・クッキー ・パン ・パウンドケーキ	
<p>【課題・提出物等】</p> <p>○ 考查終了後, 授業で記録したノートと考查での訂正を提出します。</p> <p>○ 実習の始めに製造についての口頭質問をして, 理解度を確認します。</p>					

<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>○定期考査（中間考査，期末考査）の成績点を約6～7割，平常点（出席状況，授業態度，提出物など）を約4～3割として評価します。</p>			
三 学 期	(5)第9章 食品製造の実践と企業化	12 1 2 3	<p>(イ)これまでの学習を振り返り，自分たちの開発した商品が，経営発展・地域振興・環境負荷の少ない食品の製造方法であるかどうかなどを自己評価することで，今後の進路への参考とします。</p> <p>○食品製造実習を行います。</p> <p>・パン ・クッキー ・スポンジケーキ ・豚味噌 ・麦みそ ・ジャム類 ・甘酒</p>
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>○考査終了後，授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。</p> <p>○実習の始めに製造についての口頭質問をして，理解度を確認します。</p>		
	<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>○定期考査（卒業考査）の成績点を約6～7割，平常点（出席状況，授業態度，提出物など）を約4～3割として評価します。</p>		
<p>【年間の学習状況からの評価方法】</p> <p>○1学期から3学期までの成績の平均を基準として評価します。</p>			

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<p>○座学で習得する知識と製造実習で習得する知識・技術をリンクさせて，食品の特性と加工方法および貯蔵の原理を理解しましょう。</p>
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<p>○衛生管理，健康管理，整理整頓を常に念頭において，製造実習に取り組みましょう。</p> <p>○板書は必ず記録しましょう。</p>

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容	評価方法
<p>知識・技能</p> <p>○食品製造について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けているか。</p>	<p>○定期テスト ○提出物 ○製造実習における態度 ○機械や器具の操作</p>
<p>思考・判断・表現</p> <p>○食品製造に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養っているか。</p>	<p>○定期テスト ○プリント ○製造実習における態度 ○商品開発作品</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的な態度を養っているか。</p>	<p>○製造実習における態度 ○商品開発</p>

3 担当者からのメッセージ

他人の生命にかかわる分野でもあり，安全衛生面が第一ですので，日々の自己管理をきちんとしてください。HACCPについて熟知し，卒業後の進路先で実践しましょう。

また，常に商品開発を視野に入れて学習してほしいです。

教科 農業	単位数	2 単位
(科目) 食品流通	学科・学年	農林技術科 ・ 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 食品流通について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につけます。</p> <p>2 食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。</p> <p>3 食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</p>
使用教科書・副教材等	教科書 実教出版 「食品流通」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考査
一 学 期	(1)第5章 食品の品質と規格	4	(ア)食品の品質保証のためのしくみを理解します。	○機械の説明や実習の内容について説明します。 ○食品製造実習を行います。 ・豚味噌 ・麦みそ ・パン	期 末 考 査
		5	(イ)規格, 表示と検査についてのしくみについて知り, 食品表示と安全性・信頼性の関係について理解します。		
		6	(ウ)食品の包装と包装方法について知り, 包装材と環境との関係を考察します。		
		7	(エ)食中毒予防の観点で, 食品の変質と品質保持について理解します。		
<p>【課題・提出物等】</p> <p>○考査終了後, 授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。</p> <p>○実習の始めに製造についての口頭質問をして, 理解度を確認します。</p>					
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>○定期考査の成績点を約6～7割, 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物など)を約4～3割として評価します。</p>					
二 学 期	(2)第4章 1 米の流通 2 麦の流通 3 青果物の流通 5 加工食品の流通	7	(ア)米の商品特性と米の分類・種類, 流通制度, 検査と表示制度について理解します。	○食品製造実習を行います。 ・豚味噌 ・麦みそ ・パン	期 末 考 査
		9	(ア)麦の商品特性と麦の種類, 国内産麦と外国産麦の流通と価格制度について理解します。		
		10	(ア)青果物の商品特性と流通, 卸売市場と新しい流通の流れについて理解します。		
		11	(ア)加工食品の商品特性, 多様性と流通について理解します。		
12					

<p>【課題・提出物等】</p> <p>○ 考査終了後、授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。</p> <p>○ 実習の始めに製造についての口頭質問をして、理解度を確認します。</p>					
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>○ 定期考査（期末考査）の成績点を約6～7割、平常点（出席状況、授業態度、提出物など）を約4～3割として評価します。</p>					
三 学 期	(3)第7章 食品マーケティング	12 1 2	(ア)マーケティングの原理、方法、ブランド化について理解します。 (イ)マーケティング戦略の策定と評価を理解し、実践力を身に付けます。	○ 食品製造実習を行います。 ・ 豚味噌	卒 業 考 査
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>○ 考査終了後、授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。</p> <p>○ 実習の始めに製造についての口頭質問をして、理解度を確認します。</p>				
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>○ 定期考査（卒業考査）の成績点を約6～7割、平常点（出席状況、授業態度、提出物など）を約4～3割として評価します。</p>					
<p>【年間の学習状況からの評価方法】</p> <p>○ 1学期から3学期までの成績の平均を基準として評価します。</p>					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	○ 座学で習得する知識と製造実習で習得する知識・技術をリンクさせて、食品の特性と食品流通を理解しましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	○ 衛生管理、健康管理、整理整頓を常に念頭において、製造実習に取り組みましょう。 ○ 板書は必ず記録しましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	○ 食品流通について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	○ 定期テスト ○ 提出物 ○ 製造実習における態度 ○ 機械や器具の操作
思考・判断・表現	○ 食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養っているか。	○ 定期テスト ○ プリント ○ 製造実習における態度 ○ 商品開発作品
主体的に学習に取り組む態度	○ 食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的な態度を養っているか。	○ 製造実習における態度 ○ 商品開発

3 担当者からのメッセージ

<p>身近な食生活について、常に顧客の視点からの分析を試みるとともに、自分の専攻分野と関連付けて商品販売戦略の参考にしてください。また、他人の生命にかかわる分野でもあり、安全衛生面が第一ですので、日々の自己管理をきちんとしてください。</p>

<h1>森林経営</h1>	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術 科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 森林の測定・評価及び林業経営の計画と管理に必要な知識と技術を習得し、林業経営の改善を図る能力と態度を身に付けます。</p> <p>2 経営改善に必要な諸資料を収集・分析して、経営改善に必要な諸条件を的確にとらえ、より高い収益を上げる林業経営の改善計画を立て、林業を近代化し生産の向上を図る能力と態度を身に付けます。</p>
使用教科書・副教材等	森林経営 (文部科学省)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	第1章 森林と森林経営 我が国と世界の森林 森林経営の意義と役割	4	<ul style="list-style-type: none"> 世界とわが国の森林資源について比較します。 木材の供給について理解を深めます。 林業経営の特質と生産性を理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業と関連した新聞記事やビデオを利用します。 	中間 考査
	第2章 森林の機能	5			
	第3章 森林の測定と評価 直径・樹高の測定	6	<ul style="list-style-type: none"> 測樹の必要性と単位について理解を深めます。 条件に合った求積式を理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> 測樹の器具を実際に利用します。 	期 末 考 査
	丸太材積の測定	7	<ul style="list-style-type: none"> 実際に直径、樹高の測定を行い、立木材積を算出できるようになります。 		
	立木材積の測定 林分材積の測定 年輪の測定				
	<p>【課題・提出物等】 配布プリントの提出, ノートの提出, テスト訂正の提出</p>				
	<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。</p> <p>2 定期考査70%, 学習に取り組む態度や関心・意欲(忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度)20%, 提出物(ノート・レポート)10%の配分でいきます。</p>				
第 2 学 期	成長量の測定	9	<ul style="list-style-type: none"> 毎木法, 標準木法, 標準地法について理解を深めます。 成長量の種類と成長量の測定を行い, 成長曲線と成長率について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業と関連した実習を行います。 	中間 考査
	樟樹解剖	10			
	森林の機能の評価	11	<ul style="list-style-type: none"> 森林の評価方法について学習を深めます。 G I Sについて理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業と関連した実習を行います。 	期 末 考 査
	空中写真による森林の測定	12	<ul style="list-style-type: none"> 空中写真の基礎を学習します。 		
	リモートセンシング				
	<p>【課題・提出物】 配布プリントの提出, ノートの提出, テスト訂正の提出</p>				
	<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。</p> <p>2 定期考査70%, 学習に取り組む態度や関心・意欲(忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度)20%, 提出物(ノート・レポート)10%の配分でいきます。</p>				

第 3 学 期	森林の評価 林業経営の計画	1	・リモートセンシングの基礎と応用を理解します。 ・森林評価の基礎について理解を深めます。	・授業と関連した実習を行います。	学 年 末 考 査
	木材の流通林業政策と林業法規	2	・林地の評価、林木の売買価について理解します。		
		3	・わが国の林業政策、林業法規について理解を深める。		
【課題・提出物等】 配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出					
【第3学期の評点方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）20%，提出物（ノート・レポート）10%の配分で行います。					
【年間の学習状況の評価方法】 1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	① 始業のチャイムで授業を始める準備が整っているようにしよう。 ② 授業はしっかり聞き，復習をしよう。 ③ 主体的に取り組ましよう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	① 忘れ物がないようにする。 ② 授業中は集中し，積極的に発言しよう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」，「思考・判断・表現」，及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・森林の評価、経営計画、流通の関連性を考えさせ林業経営の改善について理解し知識を深めることができたか。 ・パソコンを用いて集めた資料をデータ化し蓄積、発表させる。	・学習活動への参加の態度 ・定期考査，レポート
思考・判断・表現	・課題を解決する実践的な能力を身につけているか。 ・林業経営について必要な諸資料を収集・分析し改善のいゆにつなげて，説明できるか。	・発表の仕方や内容 ・定期考査，レポート
主体的に学習に取り組む態度	・森林の評価について複利算の公式など計算を中心に行うために計算機を用意し実際に計算させてみる。 ・主体的に課題に取り組むと共に，実践的な態度を身につけているか。	・ノートやレポートの内容 ・学習活動への参加の態度 ・出席状況

3 担当者からのメッセージ

森林を知り，森林と人間との関わりを理解し，それを人間のために活かしてこそ森林経営は成り立ちます。実際に森林の測定や管理を体験することで，森林経営における今日的な課題について理解し，地域を支える視点で自分たちができることは何か考え，積極的に授業に望むことを期待しています。

林産物利用	単位数	2 単 位
	学科・学年	農林技術科 第3学年

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>(1) 木材の構造、性質や用途を理解し、木材を製材、加工、利用する知識と技術を習得します。</p> <p>(2) 製材に関すること、木材工作に関すること、木材の乾燥や保存に関することについて課題を見だし、合理的・創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 林産物の多様な利用について自ら学び、主体的協働的に取り組む姿勢を身につける。</p>
使用教科書・副教材等	林産物利用 (実教)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 (学習活動の特記事項など)	考 査 範 囲
1 学 期	第1章 森林資源の循環利用と林業・林産業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の役割と木材産業について理解します。 ・木材資源と林産加工の関わりについて理解します。 ・木造建築やその機能について理解します。 ・林産工業・林産産業の動向や林産加工関係の仕事について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源や木造建築の環境的な意義や木材産業は具体的にどのようなものがあるか調べます。 	中 間 考 査
	第1節 循環資源としての木材 第2節 木造建築と循環 第3節 林産業の現状と動向				
	第2章 木材の性質と用途	6	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特性と用途について理解し、木材が自分たちの暮らしにどのように利用されているか理解します。 ・木材の肉眼的構造 (断面・木材の方向など) について理解します。 ・木材の顕微鏡的構造について理解します。 ・木材の物理的性質について理解します。 ・木材の機械的性質について理解します。 ・木材の化学的性質について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家でどのようなものに木材が利用されているかレポートを書きます。 ・木材を実際に見てスケッチをし、その構造についてレポートを書きます。 	期 末 考 査
	第1節 木材の構造 第2節 木材の性質 第3節 木材の用途				
2 学 期	第3章 製材と木材の工作	9	<ul style="list-style-type: none"> ・製材工程を理解し、実際に製材機械 (帯のこ) 等を使って木取りを行います。 ・木取りした製材品でベンチや机などの木工品を製作します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製材機械の操作と作品製作を行います。 	中 間 考 査
	第1節 製材 第2節 木材の乾燥と保存 第3節 木材の工作				
	第4章 木材の加工と利用	11	<ul style="list-style-type: none"> ・改良木材の構造について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・炭焼窯を活用します。 	期 末 考 査
	第2節 木材パルプと和紙 第3節 木炭 第4節 バイオマスの変換技術と利用				

3 学 期	第5章 特用林産物の生産と加工 第1節 きのこの生産と加工 第2節 山菜の加工 第3節 薬用植物の生産と加工 第4節 つる等の加工	1	<ul style="list-style-type: none"> ・きのこの基本的な生態と代表的なきのこの栽培方法について理解します。 ・山菜の栽培と加工について理解します。 ・代表的な薬用植物の特徴と薬効を学習し、さらに栽培方法と加工方法について理解します。 ・つる植物と竹材の加工について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きのこ栽培やつる等の加工とその利用を考えます。 	卒 業 考 査
	【評価方法】 ・毎時間の学習目標へ向けて取り組む態度や継続的な記録・プリントなどの提出物の有無やその内容、木工機械の取り扱い、中間と期末の定期考査の成績、小テストなどで評価します。				

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・林産加工・木材加工に関する基礎的な知識を身につけ、木材の構造と利用法などの技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・出席状況・定期考査 ・提出物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題を解決する実践的な能力を身につけている。 ・林産物の利用した製材や木工製作について、合理的・創造的に取り組む態度を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・レポート・定期考査 ・その他提出物
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・木材加工、木材の構造などに興味・関心を持ち、主体的に課題に取り組むと共に、協働的な態度を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方や内容 ・レポートなど

3 担当者からのメッセージ

木材加工の実習では、刃物や機械を使用します。誤った使用方法や注意不足により、大きな事故につながる可能性がありますので、取扱いの説明を十分に理解し、正しい使用方法と技術を身につけましょう。

教科 農業 (科目) 測量	単位数	2単位
	学科・学年	農林技術科 ・ 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 測量について、体系的・系統的に必要な知識と技術を身につける。 (2) 測量に関する課題を合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 測量について国土保全や環境創造の応用について自ら学び、主体的協働的に取り組む態度を身につける。
使用教科書・副教材等	農業測量(実教), 農業技術検定問題集等

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項など)	考查範囲
1 学期	1 トラバース測量の進め方 種類, 踏査・選点	4	・トラバース測量の種類や測定の基本について理解します。	総合実習で, 観測から計算, 製図までの流れを取り扱います。	中間 考查
	2 トラバース測量の外業 角, 距離の測定	5	・トラバース測量の外業(機器を用いた測量)が出来るように学びます。		
	3 トラバース測量の内業 (1) 方位角, 方位の計算 (2) 緯距・経距の計算	6 7	・トラバース測量の内業(方位角, 方位, 緯距, 経距の計算および誤差の点検, 調整)が出来るように学びます。		
2 学期	2 衛星測位と基準点測量 (1) 基準点と基準点測量 (2) 基準点測量のすすめかた	9	・基準点測量の基本と方式について理解します。	トータルステーションによる観測方法を総合実習で扱います。	中間 考查
	(3) 衛星測位による観測	10	・GPSの原理やその測量方法を学びます。		
	(4) 多角測量による観測	11	・トータルステーションによる観測方法やその計算について理解します。		
		12	・基準点の成果表の利用について, 学びます。		
3 学期	3 写真測量 (1) 空中写真の性質 (2) 写真測量の利用 (3) 地理空間情報	1	写真測量の概要と空中写真の性質について学びます。	実際の空中写真の判読を行います。	卒業 考查
		2	・地理情報システムについての概要や利用について学びます。		
		3			

【評価方法】・定期考查(中間考查, 期末考查, 学年末考查)の成績が約7割
・平常点(出席状況, 授業態度, 提出物など)が約3割

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	(1) 科書を読むなどして予習をしましょう。 (2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き、指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	(1) 座学においては、教科書・ノート・プリント綴り、実習においては、実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。 (2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に、実習においては注意されたことを守ること。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・測量に必要な知識を理解し、測量方法の技術を身につける。	・定期考査、レポート等におけるまとめ、考察、感想、農業技術検定問題集。
思考・判断・表現	・測量の目的に応じて、課題解決を目指した思考、測量結果の整理と誤差の原因について、解決できる態度を身につける。	・定期考査、レポート等におけるまとめ、考察、感想、授業で使用するプリント。
主体的に学習に取り組む態度	・測量器具を正確な取り扱い、測量方法について、関心・意欲をもち、主体的な学びと協働的に取り組む。	・測量器具の取り扱い、方法、誤差の調整、製図、面積の計算方法等。

3 担当者からのメッセージ

測量は、角度や面積の計算、座標計算では、三角関数など数学的な公式が使われます。普通科目「数学」との関連が深い科目ですので、基本的な知識を身につけましょう。また、パソコンでの計算処理が、一般的に使われます。農業情報処理の実技ができるように意欲的に授業に取り組みしましょう。

<h1>グリーンライフ</h1>	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術 科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 農業・農村の機能とその活用について必要な知識と技術を習得します。 2 グリーン・ツーリズムの特徴について理解します。 3 市民農園・観光農園などの仕組みについて理解し、運営する能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	グリーンライフ (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	グリーン・ツーリズム	4	2年次学習内容の復習 グリーン・ツーリズムの主な取り組み	出席・態度・意欲を評価します。	中 間 考 査
	市民農園	5	1. 市民農園の特徴とあゆみ	第1学期中間考査	
		6	2. 市民農園の開設と運営	出席・態度・意欲を評価します。	期 末 考 査
		7	3. 市民農園と農業・農村生活の向上	第1学期期末考査	
【課題・提出物等】 配布プリントの提出, ノートの提出, テスト訂正の提出					
【第1学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%, 学習に取り組む態度や関心・意欲 (忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度) 20%, 提出物 (ノート・レポート) 10%の配分で行います。					
第 2 学 期	観光農園, 直売所	9	1. 観光農園, 直売所お特徴とあゆみ	出席・態度・意欲を評価します。	中 間 考 査
		10	2. 観光農園の企画・開設と運営	第2学期中間考査	
		11		出席・態度・意欲を評価します。	期 末 考 査
		12		3. 直売所の企画・開設と運営	
【課題・提出物】 配布プリントの提出, ノートの提出, テスト訂正の提出					
【第2学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%, 学習に取り組む態度や関心・意欲 (忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度) 20%, 提出物 (ノート・レポート) 10%の配分で行います。					

第 3 学 期	観光農園, 直売所	1	4. 観光農園, 直売所と農業・農村生活の向上	出席・態度・意欲を 評価します。 第3学期学年末考査	学 年 末 考 査
		2			
		3			
	【課題・提出物等】 配布プリントの提出, ノートの提出, テスト訂正の提出				
【第3学期の評点方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。 2 定期考査70%, 学習に取り組む態度や関心・意欲(忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度)20%, 提出物(ノート・レポート)10%の配分でいきます。					
【年間の学習状況の評価方法】 1学期の成績, 2学期の成績及び3学期の成績を総合し, 年間の学習成績とします。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ① 始業のチャイムで授業を始める準備が整っているようにしよう。 ② 授業はしっかり聞き, 復習をしよう。 ③ 主体的に取り組ましよう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 忘れ物がないようにする。 ② 授業中は集中し, 積極的に発言しよう。

(2) 評価の観点, 内容及び評価方法

皆さんの学習状況は, 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	グリーンライフに関する基礎的な知識や技術を身につけているか。また, 実技を通して実践的な力をつけたか。	学習活動への参加の仕方や態度, レポート, 定期考査
思考・判断・表現	農業・農村に関する課題を多面的に考察しているか。また, 課題を科学的にとらえて合理的に解決し, 表現できる実践的な態度を身につけているか。	学習活動への参加の仕方や態度, レポート, 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	グリーンライフについて興味・関心を高めているか。また, 課題の探求に意欲的に取り組み, その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。	学習活動への参加の仕方や態度, レポート

3 担当者からのメッセージ

<p>グリーンライフは農業・農村の多面的な機能を学ぶ教科です。地域を支える視点で自分たちができることは何か考え, 積極的に授業に望むことを期待しています。</p>
